

(鳥取大学講義)
平成 27 年 5 月 29 日

「人生設計とお金」

(目次)

1. はじめに
2. 大学生のための「人生設計とお金の知恵」
3. マクロトレンドからみた日本経済の将来像 …略
——「2050年の世界」(経団連シミュレーション結果)

講師：大山陽久・日本銀行鳥取事務所長（通称 ダイセンさん）

昭和 35 年生（55 歳）、東京都出身
昭和 57 年 東京大学法学部卒（法律相談所・オーケストラ・リエンテリング'クラブ'に所属）

【主要略歴】

国際局外国為替係長・総務係長・調査役、国際金融 G 長、パリ事務所長
大蔵省経済理論研修、調査統計局エコノミスト（アジア、欧米、国内金融財政）
大蔵省財政金融研究所特別研究官、G7・APEC・OECD 会合等に多数参加
営業局大手金融 G、金融機構局経営分析 G 長・業務継続体制整備担当企画役
預金保険機構金融再生部総括次長、総務人事局組織管理担当総括、盛岡事務所長

1. はじめに

—— 「人生設計」と「お金」、どちらが先か？

- ・「どういう人生を送りたいか」が先にある筈 (or べき)。
 - ・そして、それを実現するために必要なのが「お金」。(逆ではない)
 - 人生・仕事には、「やりがい」や「自己成長の認識」が重要。
 - 皆、「お金」にあこがれるが、それだけでは幸せになれない。
- 【例】毎日 100 万円を使わなくてはならない生活のイメージは？
- 【例】婚活人気は「お金がある人」か「お金を稼げる能力のある人」か？

2. 大学生のための「人生設計とお金の知恵」

I. 人生のデザインとお金

- ・将来どんな人生を送りたいか (ライフデザイン=構想、P 3)。
 - 自分はどういうことを幸せに感じるか。
 - その生き方で、生計は成り立つか。
- ・その目標実現のために、具体的にどうするのか (ライフプラン、P 4)。
 - 30 歳までのライフプラン (具体計画) に描いてみる。
 - どのようにポジション取りするか。
- ・職業選択は、ライフデザインの中核要素 (P 7)。
 - 働く時間は、人生の大きな割合を占める (知識・人脈にも影響)。
 - 働くこと (自分の価値の提供) によりお金を得る。
 - どの程度の収入を得られるかは、提供できる価値に依存。
 - そもそも、自分はどういう仕事に向いているのか (比較優位性)
- ・大学時代をどのように過ごすかは、非常に重要 (P 9)。
 - 大学生にとって最も豊富な資源である「時間」を、「能力」に転換。
 - 勉強内容、サークル、アルバイト等 (目標との関係は妥当か)。

- ・「お金」には、価値貯蔵機能がある（P 9 下段～P 10）。

能力 → 仕事 → 貯めておく → 使いたいものに使える

【事例研究】私のケース

- ・国語・社会（不得意）vs 数学・物理（得意）
- ・文科系 vs 理数系（高3の2学期になってから文転）
- ・法学部 vs 経済学部（どちらもやりたい）
- ・公務員 vs 法律家 vs 銀行員 vs 教員 vs 商社マン vs 製造業など

【参考】東京大学玄田教授による「希望学」

- ・「希望」は「夢」とは違う。
- ・希望：特定の目標を定め、その実現に向けて不断に努力すること
- ・当初の希望が実現できずとも、その過程で自分の本当に求めるものが明確になり、「やりがい」に出合って充実した人生を送る確率が高まる。

II. お金の知恵

- ・貯蓄と保険の違い（P 41 下段～P 42）
 - 貯蓄は三角、保険は四角（P 42 図）

III. 不確実な人生に船出する

- ・資源の有限性、トレード・オフ、コスト（P 49）
 - コスト（費用、時間）を意識して、効果が大きい行動をとる。
 - 相乗効果も勘案して選択。
- ・詐欺にかからないための基本：「お金に関して、うまい話はない」（P 59）
- ・インフレが起こるとどうなるか（貯金の価値が減り、人生計画が狂う可能性）
 - 日本銀行の役割：「物価の安定」「金融システムの安定」

まとめ： まずは目標設定が非常に重要。
そのためには、時代の潮流を理解しておくことが不可欠。